

特許索引 最新特許 ブログ サイト内検索

トップ :: A 生活必需品 :: A01 農業;林業;畜産;狩猟;捕獲;漁業

KDDI Office 365

この広告のどういった点が問題でしたか？

KDDI.com

○ 繰り返し表示される

30日間無料お試しトライアル！クラウドからスマホまでKDDIがトータルサポート

Google

【発明の名称】 日本在来マルハナバチ類の繁殖供給飼育方法

【発明者】 【氏名】干場 英弘  
【氏名】綾部 斗清  
【氏名】阿部 宣男

【課題】交尾後の新女王蜂が数ヶ月間の休眠に入るのを回避させて飼育することができる日本在来クロマルハナバチの繁殖供給飼育方法の提供。

【解決手段】小箱15内で日本在来マルハナバチ類の女王蜂から働き蜂を得る第1ステップと、コロニー別に卵を孵化させて飼育する第2ステップと、飼育後の新女王蜂と雄蜂とを交尾させる第3ステップと、交尾後の新女王蜂に対し所定の休眠処理を施す第4ステップと、休眠処理後の新女王蜂を飼育する第5ステップと、新女王蜂が産卵を開始した時点で小箱15の営巣室23内に移して前記第1ステップへと回帰させる第6ステップとを少なくとも経させることで行われる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

出入自在に仕切られた営巣室と給餌室とを有する小箱の前記営巣室に日本在来マルハナバチ類の雄蜂との交尾を終えた日本在来マルハナバチ類の女王蜂を入れ、産卵させて働き蜂を得る第1ステップと、  
出入自在に仕切られた営巣室と給餌室とを有する大箱の前記飼育室内に前記働き蜂が10頭前後になった際にコロニー別に移し替えて摂氏23度以上の温度状態のもとで前記コロニーを孵化させて蜂群として飼育する第2ステップと、  
該第2ステップにて飼育された蜂群のなかから新女王蜂と雄蜂とを取り出して交尾させる第3ステップと、  
交尾を終えた新女王蜂に対し休眠処理を施す第4ステップと、  
該第4ステップを経た状態にある複数頭の新女王蜂をケージ内にて競合飼育する第5ステップと、  
該第5ステップを経た新女王蜂が産卵を開始した時点で個々の新女王蜂を27℃前後の温度状態に保たれた前記小箱の営巣室内に移して前記第1ステップへと回帰させる第6ステップとを少なくとも含むことを特徴とする日本在来マルハナバチ類の繁殖供給飼育方法。

【請求項2】

前記第1ステップでは、前記営巣室に日本在来マルハナバチ類の雄蜂の餌をロウで固定して営巣を促進させる請求項1に記載の日本在来マルハナバチ類の繁殖供給飼育方法。

【請求項3】

前記大箱は、その底面が網材で形成されている請求項1または2に記載の日本在来マルハナバチ類の繁殖供給飼育方法。

【請求項4】

前記第4のステップにおける休眠処理は、墨黴土70%に多機能バイオ用土30%を混合してなる土に対しさらに10%の骨炭を加えたものと、腐葉土とを1:1の割合で混合したものに、6ppmのナノ銀担持のコラーゲン水を吹きかけてなる事前処理土を閉空間内に1~2cmの厚さに敷き込んだ後、前記第3ステップを経た新女王蜂を収容する処理と、

前記閉空間内に収容した後の前記女王蜂を1週間から3週間前後の間8~10℃の低温状態において休眠させる処理と、

休眠後の前記女王蜂を取り出し、徐々に温度を上げ、最終的には25~28℃とする処理とを少なくとも経て行う請求項1ないし3のいずれかに記載の日本在来マルハナバチ類の繁殖供給飼育方法。

【請求項5】

前記第4のステップにおける休眠処理は、水100ccに対し、6ppmナノ銀担持コラーゲン水0.1ccを混合した5~30℃の水に、前記第3ステップを経た新女王蜂を個体差を見ながら仮死状態になるまで水没させる処理と、

水から取り出した後に体表に付着した水分を取り除く処理と、

水分を取り除いた後に、直ちに25~30℃の閉空間内に入れ、餌となるナノ銀担持コラーゲンを加えた糖液と花粉とを与えて次の処理まで水没を含む上記処理を繰り返しながら飛翔させる1回目給餌飛翔処理と、

1週間以内に前記1回目給餌飛翔処理と同じ処理を行う2回目給餌飛翔処理とを少なくとも経て行う請求項1ないし3のいずれかに記載の日本在来マルハナバチ類の繁殖供給飼育方法。

【請求項6】

前記第4のステップにおける休眠処理は、前記第3ステップを経た新女王蜂を閉空間内に収容する処理と、

該新女王蜂がその動きを止めて麻酔がかかった状態となるに至るまで前記閉空間内に二酸化炭素ガスを供給し、その雰囲気中に30~70分間放置した後に取り出して数日間飼育する処理と、

しかる後に前記女王蜂を再度、前記閉空間内に収容し、該女王蜂がその動きを止めて麻酔がかかった状態となるに至るまで前記閉空間内に二酸化炭素ガスを供給し、その雰囲気中に35~45分間放置した後に取り出す処理とを少なくとも経て行う請求項1ないし3のいずれかに記載の日本在来マルハナバチ類の繁殖供給飼育方法。

この広告の表示を停止しました。元に戻すにはこの広告のどういう理由が問題でしたか？

不適切な理由を選択してください

この広告は排ガス処理のプロ独自の設計ノウハウを加えて提案

Google

IPC分類

- A 生活必需品
- B 処理操作 運輸
- C 化学 冶金
- D 繊維 紙
- E 固定構造物
- F 機械工学 照明 加熱 武器 煙硝
- G 物理学
- H 電気